

地域再生計画（地方創生整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	岐阜県	事業実施主体	揖斐川町	地域再生計画名	ずっと住みたい「いびがわ」のまちづくり計画
計画期間	平成27年～令和3年	評価責任者	揖斐川町総務部長		

	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標 総数		達成 数				
①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標1	年間入込観光客数の増加	194万人	H25	202万人	H29	166.9万人	210万人	R3	90.4万人	×	4	1	新型コロナウイルス感染症の影響は甚大であり目標値は達成できなかった。アフターコロナを見据えた観光客誘致を進める。
	指標2	年間移住人口の増加	80人	H25	90人	H29	42人	100人	R3	51人	×	4	1	新型コロナウイルス感染症の影響で人の対流機会は皆無となり目標値は達成できなかった。
	指標3	搬出間伐面積の増加	55ha	H25	165ha	H29	400ha	275ha	R3	375ha	○			台風等の自然災害の影響もあったが概ね計画を達成することができた。
	指標4	点検診断の実施率	0%	H25	0%	H29	40%	100%	R3	85%	△			自然災害により点検路線まで行くことができず、点検を実施することができなかったが実施可能路線については点検を実施することができた。
②地域再生計画に記載した 数値目標以外の波及効果の 実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (H30)	最終実績									
特別措置を適用して行う 事業	町道整備事業	14.5km	3.4km	9.9km	整備量について、計画L=14.5kmに対し、最終実績L=9.9kmで、整備量的には68%という整備率となった。事業費について、計画C=660.725千円に対し、最終実績C=549.927千円で、事業費的には83%という整備率となった。									
	林道整備事業	4.1km	1.8km	3.2km	林道整備により、森林へのアクセスが改善されたため、森林施業の効率化が図られ間伐面積が増加した。今後においても引き続き事業を実施し林業振興の効率化を図っていききたい。									
	林道の保全対策（点検診断）	22路線・63橋	8路線・28橋	20路線・50橋	林道の既存橋梁の長寿命化と地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とした橋梁長寿命化修繕計画策定の基礎資料となった。									
その他の事業	間伐等の森林保全・整備の推進	災害に強い森林づくりを推進するため、間伐等の森林整備事業の実施を促進する。			災害に強い森林づくりに向けて間伐等の森林整備面積が年々増加している傾向にあるため、継続的に実施していきたい。									
	森林整備に必要な林内路網整備の促進	間伐等の森林整備を効率的、効果的に実施するため、必要な林道や作業道等の路網整備を促進する。			間伐等の森林整備を効率的、効果的に実施できるよう林道や作業道等の路網整備を実施してきた。今後においては、この路網を活用した森林経営計画を策定し利用間伐を促進していく。									
	地域間交流のための広域的道路整備の促進	地域の利便性の向上や町内外の交流促進を図るため、岐阜県と滋賀県や福井県を結ぶ国道303号、417号の整備や県道の整備を促進する。			岐阜県と福井県を結ぶ国道417号の整備は令和5年内の開通見通しとなった。岐阜県と滋賀県を結ぶ国道303号や都市計画道路等は継続して整備を促進している。									
	地域間交流のための広域的道路整備の促進	豊かな自然や伝統文化などの地域資源と徳山ダムなど新たに整備された観光資源を結びつけた交流人口の増加促進施策や空き家バンク・新築住宅奨励金などを核とした移住定住施策の推進、イベントに絡めた婚活事業など各種イベントの充実を図る			新型コロナウイルス感染症による自粛や事業イベント中止により順当に事業遂行することが困難であった。									
計画外で独自に実施した 事業														
④評価方法	揖斐川町計画審議会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を実施													
⑤事後評価の公表方法	揖斐川町政策広報課ホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整理と林道整備を一体的に実施し、町道整備では十分な予算配分が得られなかったことから、計画上路線すべての事業を実施することができなかった。また、林道整備では一部整備を進めることにより森林間伐事業が積極的に実施され計画目標値を大きく上回ることができた。しかし、全体では新型コロナウイルス感染症の影響が甚大であり地域間交流などのイベント系事業は軒並み中止となり観光客の増加や交流人口の増加に寄与することができなくなったため目標値を大きく下回ることとなった。													
⑦今後の方針等	新型コロナウイルス感染症の影響は終息の目途はたっていないため目標に対する今後の取組については方向性は決まっていない状況である。このため新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しつつ、地域情勢や国・県の施策を確認しながら次期地域再生計画を策定し事業を推進しく方針である。													